

生育初期・梅雨時期

今年の梅雨は雨が少なく、排水不良の事例は多くありませんでした。

その中にはありますが、排水対策の実施により用水路からの漏水や、まとまった雨の後で滞水せず、良い土壌条件を確保している例を紹介します。

事例 1

新設された農道横の用水路からの漏水がみられます。法面下に溝を掘り、あぜ沿いに排水溝と排水口も増設してその水を排水することにより、畑の内部は良好に保てます。(南丹市園部町竹井)



下の写真は隣接する畑で、作付け時には溝設置が間に合わず、まくら地が排水不良になっています。土寄せ時に合わせて漏水を遮断する溝を設置し、現在は改善されています。



事例2

7月3日の大雨の翌朝です。溝の接続、排水口の増設など、きちんとした排水対策により短時間で排水されています。記録的な大雨のため、一時うね間に水がたまった痕跡がありますが、今はほとんど水たまりがありません。中央付近にうねと直交する溝をつけ、排水口を増設しています。(京丹波町出野)



